

# グループ

講演をうけての感想	苫小牧市の現状はどうか	孤立を防ぐために現在実践していること	孤立を防ぐための課題は何か	課題を解決していくための方策	「やさしい街づくり」のため自分では何ができるのか
<p>① 認知症の増加 受け入れの体制は、1人暮らし 切迫して来ている。市庁舎で7人 おた、本人に接して ほうの「問題」。</p> <p>・1人暮らしでの、支援が増 えている。脳を「かえり」 現場で働いている。</p> <p>・民生委員と情報交換している。</p> <p>② 地域でつながっているのか、 どうやってつながっているのか いかに心をつらいてもらうか？ 血縁者がいなくなる(地元)</p> <p>③ ビデオを見て、 NHKの教材者の対応と 心。 女子学生に「勝ち」返すという 来たらいい人もある。</p> <p>・マ10-4が違う</p> <p>病院関係者。 医療関係の必要(血縁者の サポート)。</p>	<p>見守りが必要(1人暮らし) どのくらいいるか？</p> <p>必要な 認知症、障がいを持つ子。 病気の人、精神科の人、 百たいたい人。</p> <p>緊急キット (連絡先、身内、友達、 サヘル仲間の人とか)</p>	<p>制度が変えられるほど 隣人関係が希薄になる。</p> <p>地域でコミュニティを持つ。</p> <p>高齢者に関心を持つ。</p>	<p>家の中にいる子、 障がいを持っていてもできる 地区や小さいコミュニティ ・顔のみえる関係</p> <p>→ 近隣の方々に挨拶をし みよう。</p> <p>ラジオ体操、実践してみよう という人もいる。</p>		